

平成 2 7 年度
宮崎国際大学一般入学選考前期日程
【教育学部】
試験問題
国 語

受 験 番 号
氏 名

一次の各問いに答えよ。解答は各問いの選択肢①～④から選び、記号を解答用紙に記入すること。

問一 「これからの施策について協議した結果、AさんとBさんのセツチュウ案でまとまった。」の「セツチュウ」に当たる漢字はどれか。

- ① 折衷 ② 説中 ③ 折仲 ④ 切仲

問二 「マンセイ的な生活習慣病は怖い。」の「マンセイ」に当たる漢字はどれか。

- ① 漫性 ② 慢性 ③ 満性 ④ 万性

問三 「彼は仮病を使って講義を欠席した。」の「仮病」の読み方はどれか。

- ① かびよう ② かりびよう ③ けびよう ④ かへい

問四 次の四字熟語の組み合わせのうちで、すべて漢字が正しいものはどれか。

- ① 曖昧模糊／意気揚揚／一日千週 ② 一心不乱／外柔内剛／危機一発
③ 起死回生／首尾一貫／絶対絶命 ④ 針小棒大／千差万別／電光石火

問五 「（ ）と思うに、心に任せぬ半生を送ったものだ。」というとき、（ ）に最も適当な言葉はどれか。

- ① まじまじ ② おどおど ③ つらつら ④ くだくだ

問六 「人命救助のためのキビしい訓練が行われた。」のカタカナを漢字に直したとき、同じ漢字を含むものはどれか。

- ① ゲンカクな父親だ ② キバツな衣装だ
③ ケツソクを固める ④ 憲法ヨウゴを訴える

問七 「あわてふためいてうろたえ騒ぐこと」という意味の四字熟語はどれか。

- ① 悪戦苦闘 ② 獅子奮迅 ③ 一喜一憂 ④ 周章狼狽

問八 「隔靴搔痒」の意味として最も適当なものはどれか。

- ① もどかしいこと ② 恥ずかしいこと ③ 誇りに思うこと ④ 喜ばしいこと

問九 「虫が知らせる」の意味として最も適当なものはどれか。

- ① おなかがすいてくる
- ② なんとなく予感がする
- ③ 不安や悩みが増える
- ④ 物事が思い通りに行く

問一〇 次の文のうち正しい表現のものはどれか。

- ① 今回の研究会への参加を、ひとつ返事で快諾した。
- ② 私では力不足ですが、精一杯務めさせていただきます。
- ③ 私の娘は英会話教室に、各週おきに通っている。
- ④ あの政治家は、押し出しが強いことで知られている。

問一一 「金属の表面を滑（ ）磨き上げる。」というとき、送り仮名の正しいものはどれか。

- ① に
- ② かに
- ③ らかに
- ④ めらかに

問一二 「今回の事件の責任を追及された社長の弁明は、（ ）。」というとき、（ ）に最も適当なものはどれか。

- ① 国民の不信感はずっと増幅させられた
- ② 国民は不信感を増幅させるばかりであった
- ③ 国民の不信感を増幅させるばかりであった
- ④ 国民の不信感が増幅するばかりであった

問一三 「ようやく仕事の区切りがついたので、落ち着いて新年を

（ ）。」というとき、（ ）に最も適当なものはどれか。

- ① 迎えられる
- ② 迎えられる
- ③ 迎えられる
- ④ 迎えられる

問一四 ニュースキャスターが番組の最後に、「それではまた明日、

（ ）ます。」というとき、（ ）に最も適当なものはどれか。

- ① お目にかか
- ② まいり
- ③ ご覧に入れ
- ④ お目にかかり

問一五 研究会の講師の紹介で、「先生は、長年にわたり各地の陶器を収集

（ ）ました。」というとき、（ ）に最も適当なものはどれか。

- ① してこられ
- ② されてこられ
- ③ してまいり
- ④ されてまいり

問一六 四字熟語「() 奔西走」「馬耳() 風」の()に共通する方角はどれか。

- ① 東 ② 西 ③ 南 ④ 北

問一七 「犬が西向きや尾は東」の意味として最も適当なものはどれか。

- ① 真実は身近にある ② 人の運命は分からない
③ ごく当たり前である ④ 感性を重視すべきだ

問一八 「溜^{りゅう}飲^{いん}が下がる」の使い方として最も適当なものはどれか。

- ① 何日も探していた財布が見つかって溜飲^{りゅういん}が下がった。
② 私の嫌いな主任が課長に怒られるのを見て溜飲^{りゅういん}が下がった。
③ 昨日は腹が痛くて元気が出ず溜飲^{りゅういん}が下がったままだった。
④ 予想もしなかった悲しみに接して溜飲^{りゅういん}が下がった。

問一九 「泰然自若」の使い方として最も適当なものはどれか。

- ① 自分の作品が賞に選ばれたので、彼は泰然自若としていた。
② 都心で迷ったときでも、私の友人は泰然自若としていた。
③ 何かやましいことがあるのか、彼は泰然自若としている。
④ 心配性の私の友人は、泰然自若として自席に座っていた。

問二〇 「ポリシー」の意味として最も適当なものはどれか。

- ① 進路 ② 自信 ③ 空虚 ④ 方針

二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。解答は各問いの選択肢①～④から
選び、記号を解答用紙に記入すること。但し、問一・問七・問一二は記号で
はなく、本文から抜き出した文言を記入する。

㊦ 先^まず大切なことはA読書の習慣を作るということである。他の場合と同じ
ように、ここでも習慣が必要である。ひとは、単に義務からのみ、或いは単に
興味からのみ、読書し得るものではない、習慣が実に多くのことを為すのであ
る。そして他のことについてと同じように、読書の習慣も早くから養わねばな
らぬ。学生の時代に読書の習慣を作らなかつた者は恐らく生涯読書の面白さを
理解しないで終るであろう。

㊧ 読書の習慣を養うには閑暇を見出すことに努めなければならぬ。そして人
生において閑暇は見出そうとさえすれば何処にでもあるものだ。朝出掛ける前
の半時間、夜眠る前の一時間、読書のための時間を作ろうと思えば何時でもで
きる。現代の生活はたしかに忙しくなっている。終日妨げられないで読書する
ことのできた昔の人は羨望^{せんぼう}に値するであろう。しかし如何に忙しい人も自分の
好きなことのためには閑暇を作ることを知っている。読書の時間がないと云う
のは読書しないための口実に過ぎない。まして学生は世の中へ出た者に比して
遙かに多くの閑暇をもっている筈だ。そのうえ読書は他の娯楽のように相手を
要しないのである。ひとはひとりで読書の楽しみを味わうことができる。いな、
東西古今のあらゆるすぐれた人に接することができるというのは読書における
大きな悦^{よろこ}びでなければならぬ。読書の時間を作るために、無駄^{むだ}に忙しくなつ
ている生活を整理することができたならば、人生はそれだけ豊富になるであろ
う。読書は心に落着きを与える。そのことだけから考えても、落着きを失って
いる現代の生活にとって読書の有する意義は大きいであろう。

㊨ 読書を欲する者は閑暇を見出すことに賢明でなければならぬと共に、規則
的に読書するというのを忘れてはならない。毎日、例外なしに、一定の時間
に、たとい三十分にしても、読書する習慣を養うことが大切である。かように
して二十年間も継続することができれば、そのうちにひとは立派な学者になつ
ているであろう。読書の習慣は読書のための閑暇を作り出す。読書の時間がな
いと云う者は読書の習慣を有しないことを示している。読書の習慣を得た者は
読書のうちに全く特別の楽しみを見出すであろうし、その楽しみが彼を読書か
ら離さないであろう。《ア》

㊩ 他の場合においてと同様、読書にも勇気が必要である。ひとは先ず始めな

ければならぬ。我々はつねに読書に好都合な状態にあるのではない。読書に好都合な状態ができてから読書しようと考えらば、遂に読書しないで終るであろう。ひとたび読書し始めるならば、落着かない心も落着き、憂いも忘れられ、不運も心にかかることなく、すべて読書に好都合な状態が生ずるであろう。いやいやながら始めて、やがて面白くなってやめられなくなる場合が多い。先ず読書することから読書に適した気分が出てくる。ひとたび読書の習慣を得れば、習慣があらゆる情念を鎮めてくれる。落着いた大学生といわれる者はたいてい読書の習慣を有するものである。《イ》

⑤ 読書は一種の技術である。すべての技術には一般的規則があり、これを知っていることが肝要である。読書法についても古来いろいろ書かれてきた。しかし技術は一般的理論の単なる応用に過ぎぬものではない。技術においては一般的理論が主体化されねばならず、主体化されるということは個別化されるということである。これがその技術を身につけることであって、身につけていない技術は技術と云うことができぬ。読書にとって習慣が重要であるというのも、読書が技術であることを意味している。技術は習慣的になることによつて身につくのであり、習慣的になっていない技術は技術の意義を有しないであろう。そのことはB固より読書にとつて一般的規則が存在しないことを意味するのではない、もし何等の一般的規則も存在しないとすれば、それが技術であることもできぬ筈である。

⑥ 一般的規則の主体化を要求する点において、すでに手工業的技術は工場的生産の技術よりも遙かに大きいものがあるであろう。まして読書の如き精神的技術にあつては、一般的規則が各人の気質に従つてCされることが愈々必要になつてくる。めいめいの気質を離れて読書の技術はないと云つても好いほどである。読書法は各人において性格的なものである。それ故に各人にとつて自分に適した読書法を發明することが最も大切である。読書の技術においてひとはめいめい発明的でなければならぬ。もちろんこの場合においても發明の基礎には一般的規則がある。しかし自分の気質に適した読書法を自分で發明することに成功しない者は、永く、楽しく、また有益に読書することはできないであろう。

⑦ Dかように自分自身の読書法を見出すためには先ず多く読まなければならぬ。多読は濫読と同じでないが、濫読は明かに多読の一つであり、そして多読は濫読から始まるのが普通である。古来読書の法について書いた人は殆どすべて濫読を戒めてゐる。多くの本を濫りに読むことをしないで、一

冊の本を繰り返して読むようにしなければならぬと教えている。それは、疑いもなく真理である。けれどもそれは、ちょうど老人が自分の過去のあやまちを振り返りながら後に来る者が再び同じあやまちをしないようにと青年に対して与える教訓に似ている。かような教訓には善い意志と正しい智慧ちえとが含まれているであろう。しかしながらE老人の教訓を忠実に守るに止まるような青年は、進歩的な、独創的なところの乏しい青年である。昔から同じ教訓が絶えず繰り返されてきたにも拘かわらず、人類は絶えず同じ誤謬ごびゅうを繰り返しているのである。例えば、恋愛の危険については古来幾度となく論ろんされている。けれども青年はつねにかように危険な恋愛に身を委ゆねることをやめないものであって、そのために身を滅す者も絶えないではないか。あやまちを為すことを恐れている者は何も掴つかむことができぬ。人生はFである。恥ずべきことは、誤謬を犯すということよりも寧むしろ自分の犯した誤謬から何物をも学び取ることができないということである。努力する限りひとはあやまつ。誤謬は人生にとって飛躍的な発展の契機ともなることができる。それ故に神もしくは自然は、老人の経験に基く多くの確かに有益な教訓が存するにも拘らず、青年が自分自身でつねに再び新たに始めるように仕組んでいるのである。だからといって、もちろん、先に行く者の与える教訓が後に来る者にとって決して無意味であるというのではない。《ウ》読書における濫読も同様の関係にある。濫読を戒めるのは大切なことである。しかしひとは濫読の危険を通じて自分の気質に適した読書法に達することができる。一冊の本を精読せよと云われても、特に自分に必要な一冊が果して何であるかは、多く読んでみなくては分らないではないか。古典を読めと云われても、すでにその古典が東西古今に互あって数多く存在し、しかも新しいものを知っていなくては古典の新しい意味を発見することも不可能であろう。読書は先ず濫読から始まるのが普通である。しかしいつまでも濫読のうちに止まっていることは好くない。真の読書家は殆どみな濫読から始めている、しかし濫読から抜け出すことのできない者は真の読書家になることができない。濫読はそれから脱却するための濫読であることによつて意味を有するのである。

④ 濫読に止まるなということとは多読してはならぬということではない。多読家でないような読書家があるであろうか。寧ろ読書家とは多読家の別名である。諺ことわざに、賢者はGただ一冊の本の人間を恐れる、という。ひとは多く読まなければならぬ。読書の必要はただ一冊の本の人間にならないために、云い換えれば、一面的な人間にならないために、存在するのである。単に自分自身の時代のみでなく、また過ぎ去った時代について、単に、自分自身の国のみでなく、

また世界について、全体の生活と思想について正しい見通しを得るために、多く読まなければならぬ。即ち読書において一般的教養を心掛けることが大切である。読書家とは一般的教養のために読書する人のことである。単に自分の専門に關してのみ読書する人は読書家とはいわれぬ。教養とは或る専門の知識を所有することをいうのではなく、却って、教養とはつねに一般的教養を意味している。専門家になるために読書の必要のあることは云うまでもないが、ひとは特に一般的教養のために読書しなければならぬ。そして専門家も一般的教養を有することによって自分の専門が学問の全体の世界において、また社会及び人生にとって、如何なる地位を占め、如何なる意義を有するかに就いて正しい認識を得ることができるのである。専門家も人間としての教養を具そなえ専門家の一面性の弊に陥らないように読書は勧められるのである。そのうえ自分の専門以外の書物から専門家が自己の専門に有益な種々の示唆を与えられる場合も少なくないであろう。かくして多読は **H** の意味においては避くべきことであるとしても博読の意味においては必要であると云わねばならぬ。《エ》

(三木清「如何に読書すべきか」)

問一 傍線部 A 「読書の習慣」を別の言葉で言い換えたものを段落㊦から一五字以内で抜き出せ。

問二 傍線部 B 「固もとより」はどのような意味か。最も適当なものを選び。

- ① 由来 ② もともと ③ 本来 ④ もちろん

問三 空欄 C に入る語句はどれか。最も適当なものを選び。

- ① 一般化 ② 客体化 ③ 個別化 ④ 連携化

問四 空欄 D に入る接続詞は何か。最も適当なものを選び。

- ① ところで ② しかし ③ また ④ 一方

問五 傍線部 E 「老人の教訓を忠実に守るに止まるような青年は、進歩的な、独創的なところの乏しい青年である」とあるが、それでは青年はどうあるべきだと筆者は考えているか。最も適当なものを選び。

- ① 有益な教養を老人の言葉から賢明に選び取るべきである

- ② 老人の教えにある正しい智慧を身につけるべきである
- ③ 失敗をおかしても、その失敗から何かを学ぶべきである
- ④ 誤謬は積極的に犯すべきで、それを恥じてはならない

問六 空欄Fに入る二字の漢字熟語はどれか。最も適当なものを選び。

- ① 後悔 ② 冒険 ③ 努力 ④ 学習

問七 傍線部G「ただ一冊の本の人間」と反対の意味の文言を本文中から一四字で抜き出せ。

問八 いずれかの段落に「自分に適した読書法を」という標題を付けるとすれば、どの段落が適当か。最も適当なものを選び。

- ① ㉑段落 ② ㉒段落 ③ ㉓段落 ④ ㉔段落

問九 本文中に「そこに人生の不思議と面白さがあるのである。」という一文を入れる箇所はどこか。最も適当なものを選び。

- ① ≪ア≫ ② ≪イ≫ ③ ≪ウ≫ ④ ≪エ≫

問一〇 この文章はどのような読者を想定して書かれたものか。最も適当なものを選び。

- ① 学者 ② 青年 ③ 学生 ④ 役人

問一一 読書に必要なものとして筆者が挙げていないものを選び。

- ① 勇気 ② 落着き ③ 閑暇 ④ 習慣

問一二 空欄Hに入る適当な語句を文中より選んで記せ。